

## □オープニング企画 エイズと宗教を語る

主催： AIDS文化フォーラムin横浜運営委員会

内容：

『神様がくれたHIV』著者であり、自らHIV感染をカミングアウトされた北山翔子さん、甲府カトリック教会司祭、『サーファー神父』こと細井保路さん、浄土真宗本願寺派僧侶（佐賀・浄誓寺）の『ビジュアルジョッキー坊主』こと古川潤哉さんの異色な3人がそれぞれの立場からエイズと宗教のつながりについて語り合いました。（司会進行役：岩室紳也）

そしてMCは、  
岩室紳也！



『ビジュアルジョッキー坊主』  
古川潤哉！

『サーファー神父』  
細井保路！

『神様がくれたHIV』  
北山翔子！

来場者の感想：

今日は母につれられて来たんですけど、来て良かったなあと思いました。人と人とのつながりのことなので難しいなあと思ったけれど、みなさんの話を聞いて、気持ち軽くなったような気がします。ありがとうございます。（宮城県/10代/学生）。／同感するところがいっぱいあったので、とても勉強になりました。人と人とのつながりなどが分かりました。いろんな生き方をしている人たちの話をきけてよかったです。（宮城県/10代/学生）。／宗教といえば性の否定とかを連想していたけれど、まるっきりちがっていたのにびっくりした。（神奈川県/10代/学生）。／宗教家のお話を聞いて、エイズのことを日常적인見方で考えることができ、宗教の今の有る姿を垣間見れたような気がします。（神奈川県/20代/その他(フリーター)。／今までの宗教の関わりの中では、割と他の宗教や無宗教の方を排除していたので、とても嫌だったのですが、今日は私が常々考えていたようなことを話していただいたのでとても心が安らぎました。いろいろなことを知るというのはとても楽しいことですね。（宮城県/40代/保健医療関係）。／テーマをHPでみた時、あっそうか、そういう切り口あったよねって思いました。期待通りの内容でよかったです。（京都府/40代/NPO）。／毎年参加しています。中央でしか入手できない最新情報と教育関係者だけでなく、あらゆる立場での参加者が集うこのフォーラムに期待しています。（新潟県/40代/教育関係）。／初めての参加であったが、目からウロコ！エイズに対する考え方が変わり宗教についても考えさせられた。（神奈川県/50代/その他(専門職)）／「あるがままを受け入れる」他人も自分も。とても大切で根本的な問題を自分に問う、よい機会となりました。ボランティア活動(電話相談)で難しさを実感しています。（神奈川県/60代以上/その他(ボランティア)）／はじめてフォーラムに参加して3名の方のとても有意義なトークの話を聞いて、いろいろな人のエイズに対しての考え方、また、社会一般の考え方など勉強になった。神父・坊主と宗教が違って同じ仲間、同じ考え方で共感していてすばらしいと感じた。／宗教とは生き方の確認であるということ。不平、不満の中にあっても必ず感謝すべきことはあり、「おかげさま」という気持ちの大切なこと。縁という言葉であらわされる全てのかかわり、つながり方から学ぶこと。とかく自分中心に考えることの多い中でトークにのぞまれた方々の言葉が心に響き、貴重な時間を持つことができました。岩室先生の司会進行もお見事でした（保育士）

「エイズと宗教」  
まさに生き方を問う  
プログラムでした

